

江戸のつばき



やくよけ祖師 堀之内 妙法寺

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 3-48-8

Tel: 03 - 3313 - 6241

Fax: 03 - 3313 - 5007

<http://www.yakuyoke.or.jp>



みょうぼうじ　　ほなしょうぶ
表紙　　妙法寺の花菖蒲

杉並百景にも選ばれている花菖蒲。
毎年6月になると花菖蒲や紫陽花
が鮮やかに咲き誇り参拝者を魅了
しています。

日朝堂より奥に進み、墓地入口の
報恩門をくぐると見えて来ます。

宗歌

日蓮聖人最晩年の弘安五年に詠まれた歌です。

「生涯を振り返ると、ほんとうに様々なことがあった。命を失わんとしたこともしばしばであった。しかし、この身延のお山は、釈尊が法華経を説かれた靈鷲山と同じ。木々を渡る風も、川の流れも皆法華経の教え。今こうして身延の山で弟子、信徒に囲まれ、法華経に生かされる日々を送っている私の心は、実に安穩で豊かである。身も心も晴れ渡つてすがすがしい。」との思いがこの歌に込められています。

この歌は弘田龍太郎氏が作曲。現在、日蓮宗の宗歌となっています。

宗歌

日蓮聖人御詠

立ち渡る

身のうき雲もはれぬべし

たえぬ御法みのりの鷲りの山風



「昼夜常精進」

(従地涌出品第十五)

私が若い時分 僧侶になるためのはじめの修行に入りま
した時 主任先生から頂いた色紙に揮毫された「法華経」の
一節です すばらしい文句・文字で大変感激いたしました それから長い
年月が経ちましたが この経文の様に過ごした日が幾日ありましたか自問
いたします 常に私達はこの経文を心に刻んでいなければならないのですが

今年の七月昼過ぎ突然空模様が怪しくなり辺り一面ピンポン玉が跳ね
る様な大粒の雹が降り 小半日彼方あちら此方こちら 固り融けずに残っておりま
した いつ何が起るか分からない 私には初めての出来事です この日
は百五歳という天寿を全うした老医師が亡くなられた日でもありまし

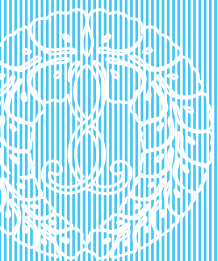
た 聖路加国際病院院長など勤められ晩年まで現役の医師・文筆家と
して活躍された日野原重明さんです たまたま 偶々乗り合わせた飛行機がハイ
ジャックされ死をも覚悟し それからは人々の為に生きようと決めたそう
です 朝の通勤時を狙った地下鉄サリン事件の折には 病院の責任者とし
て人命第一と被災者を最優先にして陣頭指揮を執られました 既に
ご高齢のようですが 颯爽とした姿が印象的でありました 百歳を過ぎ
ても現役に意欲を示され よくメディアにも登場されていて 総てに
対し 達観視されているのかと思いきや 死について聞かれれば恐ろしい
気持ちで一杯になると吐露され その時が何れ来るならばどの様な人が
迎えてくれるのか 誰に逢うことができるのかとても楽しみにしている と
老医師らしい気持ちを述べられています この様な人柄や考え方は世間の
人から愛され 共感され その生き方に人々は支持・尊敬の念を抱くのた
と感じました 日本は近い将来寿命百歳の時代が来ると言われています

この方の清廉で立派な信念を貫かれた生涯は 私達と信仰は異なりますが これからの日本の人々の良いお手本になる姿かと思いましたが

さて話は変わりますが AI(人工知能)とやらが私達の身のまわりのあらゆる分野 目の見えない所で活躍しているそうです そして二〇四五頃には人間の知的能力を超えてしまうと聞きました 近代の科学進歩は目覚ましく多くの発明・発見を生んで来ましたが しかし地球・世界の平和 人類の幸福の為に生み出された数々のものが 何時しか全く異なった目的で使われ 人々が不幸に陥る物も多々ありました お釈迦様は「人に依らず 法に依れ」と論されており 人間は常に正しい道を判断する事が出来れば良いのですが 今や数発で地球・人類を滅ぼす程のエネルギーを持つ兵器があり それを持ちたがる国家・集団がまだあります 以前 宇宙を彷徨った船が漸く辿り着いた星が 猿に自由を奪われ支配される人が生きる地で 船長が土に埋もれた自由の女神像を目にし 実は自分達は地球にもどりその光景は 人類が歩んだ末路であった事を知り愕然とする という映画がありました SFの世界でしかなかったものが 今では現実に起こりうるということを考えてしまいます 人に生み出された機械がどんどん進化をし 何時しか人間がその生き方を否定され 地球に不必要などと判断されやしないか 要らぬ危惧かもしれません 脳裡をよぎります

「我門家は夜は眠りを断ち 昼は暇を止めて之を案ぜよ 一生空しく過ごして万歳悔ゆる事勿かれ」(富木殿御書)との日蓮聖人のお言葉がふと気になりました

私達は常に今 人が生きて行く上で大切な事柄をじっくりと思索し 立派に暮らして行くことを心掛けねばならないと思います



日蓮聖人の手紙 (二十六)

妙揚寺住職 前立正大学仏教学部教授 北川 前肇

いも一駄・はじかみ五十把(把)をくりたびて候ふ。

このみのぶのやまと申し候ふは、にし(西)はしらねのたけ(嶽)、つねにゆき(雪)をみる。ひんがし(東)にはてんしのたけ、つねにひ(日)をみる。またはみのぶのたけ、みなみはたかとのたけ、四山のあひ(間)はこ(箱)のそこのごとし。いぬぬ(戌亥)のすみよりかは(河)はながれて、たつみ(辰巳)のすみにもかう。かゝるいみじきところ、みね(峯)にはせび(蟬)のこへ、たに(谷)にはさる(猿)のさけび、木はあしのごとし。くさはあめににたり。しかれどもかゝるいもはみへ候はず。はじかみはをいず。いし(石)にて少しまもりやわらかなり。くさ(草)にてくさよりもあぢあり。

法華經に申しあげ候ひぬれば、御心ざしはさだめて釈迦仏しろしめしぬらん。

恐々謹言。

八月十四日

日蓮花押 御返事

訳

馬の背に乗る量の里芋一駄、シヨウガ五十把をお送りくださり、お礼申し上げます。

この庵室のある身延山は、西は白根の嶽がそびえ、つねに雪をいただいています。東には天子の嶽があり、いつも太陽が昇るのが拝めます。北は身延の嶽、南は鷹取の嶽がそびえています。この四つの山に囲まれた、箱の底のようなところに庵室があります。北西の方から流れくる河は東南の方角へと向かいます。そのようにけわしい所で、峰には蟬がやかましく、谷には猿の叫び声が響き、樹木は葦のように林立し、草は雨が降るようにすき間なく生えています。しかしながら、ただ今頂戴したような芋は見当たりませんし、シヨウガも生えていません。芋は石に似ていますが、少しやわらかに見えます。シヨウガは、雑草のようですが、草より味があります。

ご供養のことを法華經の御宝前にご報告申し上げましたので、貴殿の尊いお志については、釈迦仏がご存知になつていらつしやることでしょう。つつしんで申しのべました。

八月十四日

日蓮花押 御返事

(弘安元(一二七八)年八月十四日・『芋一駄御書』・昭和定本一五五〇頁)

解説

身延山でご修行の日蓮聖人のもとへ、里芋一駄と、シヨウガ五十把が届けられました。

そのご供養の品々を法華經・釈迦仏の御宝前にお供えされるとともに、その功德をたたえられたお手紙で、ご真筆二紙が、富士宮市大石寺に所蔵されています。ご供養の宛名は「御返事」とあるだけですが、「南条氏」からのご供養と考えられます。身延の草庵をとりまく情景がみごとに描写されています。

日蓮聖人の生涯

【第六回】

遠藤教温

小松原の法難

弘長三年（一二六三）二月十一日、日蓮聖人はおよそ一年九カ月に及ぶ伊豆流罪を赦免されました。

翌文永元年（一二六四）、日蓮聖人は母が重病に陥つていることを知らされ、久しぶりに故郷に帰られました。「法華経こそがお釈迦様の真実の教えである」と説かれ、「南無妙法蓮華経」と声高らかに唱えて立教開宗を宣言されたために清澄山を追われて以来、初め

での帰郷でした。

母の枕元で、日蓮聖人は一心に法華経を読み、「母を助け給え」と祈りました。法華経の護符を作って母の口に含ませると、やがて母は息を吹き返して蘇生されたのです。そればかりか、その後四年間も寿命を延ばされました。

その年の十一月十一日のことです。日蓮聖人は、安房天津の信徒工藤吉隆公の招きに応じて十人ばかりで訪ねる途中、夕闇の迫る頃、東条の小松原にさしかかったところ、地頭の東

条景信らに待ち伏せされ、襲撃されました。矢が飛び、太刀が光り、叫び声が飛び交う中で、日蓮聖人一行は必死に防戦します。しかし、多勢に無勢、弟子の鏡忍坊はその場で討たれ、二人の弟子も重傷を負ってしまい、日蓮聖人も額に傷を負い、左手を折られました。急を聞いて駆けつけた工藤吉隆公も日蓮聖人を助けようとして必死に戦い、自らの命を落としてしまいました。

このような状況の中で、この時も不思議なことに日蓮聖人はその場を脱することができたのです。命に関わるほどのこの大難を『小松原法難』といいます。

虎口ここうを脱した聖人が傷の手当をしていると老婆が綿布を差しだし、それで聖人は額の



龍口の法難

傷を拭きました。日蓮宗の寺院では、十一月十一日から四月二十八日の立教開宗の日まで日蓮聖人のご尊像に綿帽子をかかけますが、このことに由来しているのです。もちろん冬の間に寒かろうという日蓮聖人への暖かな思いやりもあります。

「小松原法難」を経た日蓮聖人は、法華経には「法華経を信じ行ずる者は必ず法難に会う」と書かれている。この法難に出会った自分は法華経を身体で読んだことになる。との確信を深め、「されば日蓮は日本第一の法華経の行者なり」と述べられました。これは、末法の世と人々を救うためにお釈迦様から遣わされた自分であるとの宗教的自覚を表明されたものです。

文永五年（一二六八）年明け早々、「蒙古から国書が来た」という大ニュースが飛び込んできました。京、鎌倉はこの報に驚き、畏れおのきました。当時、強大な国力を誇っていた蒙古の国書には、日本と通商友好を結びたいと記されていましたが、服従しなければ武力を行使するという脅迫的な書面でした。

朝廷や幕府は連日にわたって協議し、「蒙古は無礼である」として国書の受理も返答もしないでこれを無視する一方、全国の有力な寺院に命じて、蒙古調伏の祈祷を行わせました。

日蓮聖人はこの国書を、「ついに来るべきものが来た」と受け止められました。幕府が正を頼みます。日蓮聖人は忍性に「七日の間に雨が降ったら念仏を信じ忍性の弟子になろう。しかし、もし雨が降らなかつたら法華経を信じて日蓮の弟子となるがよい」と申し入れました。忍性は鎌倉の諸大寺の僧を動員して雨乞いの祈祷を行いました。七日の間一滴の雨も降りませんでした。かえって炎天はひどくなり、強風が吹き荒れました。

祈祷に失敗した忍性はかえって日蓮聖人を恨み、禅や念仏の高僧たちと談合し、「直ちに日蓮の首を斬り、弟子たちも斬首、流罪、入牢すべし」として日蓮聖人の処罰を幕府に訴え出しました。

そして、文永八年九月十一日の夜半、幕府の命を受けた平頼綱は、日蓮聖人を召し捕る

しい教えである法華経に帰依しなければ、一つは国内の同士討ちが起きること。もう一つは他国に攻められることの二つの難が必ず起きるのであろうということ。既に『立正安国論』で指摘しておられたからです。蒙古国書の到来は、『立正安国論』の予言がまさに的中したことを示すものでした。それは同時に法華経が真実の教えであることを証明するものでもありました。

文永六年（一二六九）にも再び蒙古からの使者が国書を携えて来ました。国家の危機が次第に迫ってきていました。

文永八年（一二七〇）夏の日照りが厳しく、幕府は当時「天下第一の聖人」「生き仏」と言われた極楽寺の良観房忍性に雨乞の祈祷

ため大勢の手勢を引き連れて松葉が谷の草庵を襲いました。彼らは庵室に土足で踏み込んだうえ、仏像を壊し、経巻を蹴散らす有り様でした。頼綱の郎党である小輔房という者は、日蓮聖人の懐から経巻を奪いとり、その経巻で聖人を三度打ちすえました。その経巻は法華経の五の巻で、そこには「悪口を言われ、ののしられ刀杖を加えられても忍ぶべし。忍辱の鎧を着るべし。この経を説くためにもろもろの難事を忍ばん」と書かれています。勸持品が収められているのです。

日蓮聖人は打たれながら、「刀杖を加えられても忍ぶべし」と説く法華経を自ら実践しているとの確信をますます深めていくの

でした。

まさに捕らえられようとしたその時、日蓮聖人は幕府の実権を握る平頼綱に向かつて、「日蓮は日本国の棟梁である。余を失うのは日本国の柱を倒すことである。今こそ同士討ちと他国より侵略される難とによってこの国の人々は打ち殺され、生け捕りとなり、悲嘆に沈むであろう。法華経に背くことをやめさせなければ日本国は亡ぶであろう」と、堂々と諫めの声を発したのです。

これは、日蓮聖人第二の国主諫暁と言われています。

日蓮聖人の生涯

法縁



めぐりくその十八

ちようこくざん あんこくじ

日蓮宗の寺院は、全国に約五千ヶ寺あります。その中でも、特に縁の深い寺院のつながりを「法縁」と呼んでいます。ここでは、堀之内妙法寺を中心とする「堀之内法縁」に属する寺院を紹介していきます。

長谷山安國寺



住職 中嶋教彰

当山は、長谷山(又は曾谷山)安國寺と号し、文応元年(一二六〇)に創建されました。

宗祖日蓮聖人を開山と仰ぎ、時の曾谷城主曾谷入道教信(後の法蓮日礼)上人とその妻蓮華尼を開基とする、宗祖三度説法の靈跡であります。

安國寺開基曾谷上人は、大変孝心の篤い方であったと伝えられています。元仁元年(一二二四)に生まれ、正応四年(一二九二)五月一日、六十八歳で入寂しました。

この間、若宮富木常忍上人・中山太田乘明上人と並び下総(千葉県北部)三大檀越の

一人として日蓮聖人に帰依篤信し、法華經信仰を弘め、その教えを深く理解し、度々日蓮聖人へ学資を送るなどして支えた信者の代表的な存在でありました。後に入道して法蓮日礼と号し、妻も蓮華尼の法名を日蓮聖人より授けられました。

曾谷氏は戦争によって絶滅するのですが、十五代まで歴代が続きました。その曾谷一族によって安國寺のほか、市川大野法蓮寺・松戸平賀本本土寺・千葉野呂本山妙興寺など多くの寺院が建立されました。

室町時代には毎月二回法華講衆が参集、曾谷地方の弘通所となりました。

近世においては、大本山中山法華経寺の直末寺と定められたり、多くの儒者・書家等文人墨客が参り、曾谷を中心に市川

の文化の発展に大きな役割を果たしたという史実が残っています。なかでも珍しいところでは、書道の大家「王羲之」の木像

がお納めされたり（現存）、『晋右軍王公廟』と書いた石額がかかげられたり（現存）しました。



▲宗祖説法の図
▲市川最古釈迦佛庚申塔



▲王羲之座像

▲安國寺本堂内



▲安國寺の
▲本堂外観

安國寺から、第三十九

世玄妙院日淳上人が堀之内妙法寺に入山(天保六年)、また第四十一世戒真院日璋上人が

京都妙伝寺みょうでんじに入山するなど多くの寺

縁を結ぶことになりました。

安國寺は開創以来、中世・近世・近代そして現在に至るまで、数々の戦乱や幾多の困難をのり越え、実に七百五十七年の歳月が経ち、只今第五十四代目の住職が法灯を受け継ぎ、守らせていただいております。

◆延寿のお祖師さま◆

建治元年(一二七五)、曾谷入道教信は身延山の日蓮聖人を追慕して自ら日蓮聖人尊像

蓮聖人によって開眼供養が営まれました。

このお堂にて日蓮聖人は三度説法をされた訳ですが、その折丸柱に息を吹きかけられました。以来「宗祖息吹きかけの丸柱」として、修繕を繰り返すも現存しております。

又、当山の妙見尊像は通称「いぼとり妙見様」と呼ばれ、永年にわたり人々より信仰されてまいりました。



▲延寿のお祖師さま

を刻み、開眼供養を営みました。背銘に「佛所護念ぶつしよごねん法蓮作之ほうれんこれをつくる」と記されています。この後、長子道崇の難病をこの尊像に祈願して治癒したところにより、寿命を延ばす靈験があるとされ、「延寿のお祖師さま」と称され、広く信仰されました。

◆妙見堂◆

鎌倉時代の仏師運慶作と伝えられる開運妙見大菩薩を安置。文永元年(一二六四)日



▲妙見尊立像(上)と妙見堂外観(右)



◆ 鬼子母神堂 ◆

日蓮聖人の刻まれた鬼子母神像を安置しており

ます。日蓮聖人は文永元年（一二六四）の小松原法難に際し鬼形の鬼子母神が姿を現わし難を逃れたのにちなみ、法難後に下総若宮に赴いた折、一木二体の鬼子母神像を刻み、一体を富木常忍上人に与え（大本山中山法華経寺に安置）、もう一体は妙見堂開眼供養のため当安國寺に来山し・三度の説法をされた折に曾谷入道教信に授けたのが、この鬼子母神像であると伝えられています。



鬼子母神像▶



▲鬼子母神堂
外観(上)と内陣(下)



安國寺

〒272-0832 千葉県市川市曾谷1-35-1

☎047-371-3284

【交通】●「JR本八幡駅」北口下車→バス高塚行きもしくは大町行き→「曾谷バス停」下車10分

現在のお堂は、平成十五年に大修繕を行いました。

お祖師様と私

このコーナーでは、当山とゆかりのある方々をご紹介します。

第二十六回

和太鼓奏者

響道宴さん



私は高円寺が地元で、子供の頃は遊び場の一つであった妙法寺。

現在は別の場所に住んでい

るものの、数年前より三日と十三日の縁日には、境内で太鼓演奏をさせていただいております。

空に広く抜けるような場所と清浄な空間はな

んとも気持ちよく、都心にしながら贅沢なひと時！春には桜、日差しの強さを感じる夏、秋に空の大きさを感じ、冬に空気のハリを感じる中、太鼓の音が響き渡っていく。そんな四季の移り変わりを肌で感じ、すべては留まらず変化し続け、目に見えなくても繋がりがや関わりがあり、それが今をつくり出し、この時を味わっている。太鼓が古来より儀式や祭り、闘気や平癒などさまざまな状況で用いられているのは、そこにあるすべてのものと響き合うチカラがあるからなのでしょう。そのようなことを思い、演奏の機会を頂いた妙法寺さんには感謝です。

ぜひ、機会があれば、三日と十三日の縁日には、太鼓の音を肌で感じ、響き合いにいらしてください！

※スケジュールや天候の都合により、中止になる場合もあります。

<http://t-hibiki.com/wp/>

「縁日」

えん じち

◎ 縁日ってどんな日？

そもそも縁日とはどのような日かと申しますと、神仏の降誕や誓願などゆかりのある日の事を指しており、その縁を自分に結んで御利益を頂こうという日のことを指します。日本ではお祭りの文化が色濃く残っている中、この妙法寺では三のつく日つまり、三日、十二日、二十三日に縁日を行っています。どのような縁日が

行われているか、それぞれのどのような理由で縁日としているのかをお答えしたいと思います。



▶ 縁日のお経

◎ 三日「諸霊供養」って何？

毎月三日(月によって変動あり)の縁日は「諸霊供養」という行事を行っています。諸霊というのは、「多くの生き物の霊 生きとし生けるも

のの霊」を指します。

“諸”を付けることで仏教的な広い意味が強調されますが、主に沢山の亡くなった人の霊を言います。



▲本堂で行われた「諸霊供養」の様子

心を込めてお経を捧げます。亡くなられた方の扱いについてどうしても判らない…故郷やお墓が遠くてお参りが出来ない…といったご相談もお受けいたしますので、お気軽にお参り、お声がけ下さい。また、普段の仏事ではなかなか伺えない「法話の会」も同日に行っております。こちらも必聴ですので、ご聴聞下さい。

◎ 十三日「宗祖御縁日」って何？

水子さん等はこれにあたります(法界万霊供養(土地にまつわる霊や普段供養を受けられない霊、ありとあらゆる霊)等、皆さんが心に思い浮かべる方たち、今は亡き方々、それぞれに思いを馳せる気持ちに寄り添って、安心できたと思えるよう

毎月十三日に行われている御縁日を言います。

日蓮宗の開祖であられる日蓮大聖人が御入滅(お亡くなりになること)されたのは弘安五年(二八二)十月十三日でした。この十三日にちなんで妙法寺では御縁日としています。

日蓮聖人は生涯をかけて私たちに法華経・御題目を伝えてくださいました。

そのお陰で今の私たちがあることに気づき、またそれに感謝することを忘れないための行事です。当日は午前十時、午後一時と二回、僧侶が祖師堂で勤行を行います。是非お誘い合わせの上お参り頂き、宗祖の御徳をお受け取り下さい。

Q 御入滅って聞いたことがありますか？

「入滅」とは、お釈迦様の死、または高僧の死などに使う言葉で、涅槃に入ることの意味します。

涅槃とはサンスクリット語でいうところのニルヴァーナが語源で、煩惱の無くなった状態を表します。またそうした境地に入ることも入滅

と言っています。ニルヴァーナには「吹き消すこ

と」という意味もあります。そこから命の火が吹き消えたという意味に繋がりました。

日蓮聖人の場合も、一宗派を開いた立派な方なので、亡くなったことを入滅、さらに丁寧に「御」をつけて「御入滅」と言い表します。

日蓮聖人の御入滅について

日蓮聖人は、弘安五年（二二八二）十月十三日の辰の刻（午前八時頃）お亡くなりになりました。晩年、身延山にて九ヶ年ほど御隠棲されておりましたが、体調をくずされ、療養のため常陸国（現在の茨城県）に湯治に行かれることになりました。

ところが、長年の御苦勞がたたり、武蔵国池上（現在の東京都大田区池上）にさしかかったところで、病状が悪化、そこで今生最後を悟られ、直弟子六名を選定、孫弟子には帝都布教を託されてその御生涯を閉じられました。御年六十一歳のことでした。

荼毘の後、「心は未来際までも身延山に住むべく候」という御遺言によって御遺骨は身延山に埋葬されました。日蓮宗では彼の地を日蓮聖人の御心棲む聖地、総本山として、心の拠り所としています。

Q 二十三日尊御縁日って何？

毎月二十三日は、二十三日尊をお祀りする日で、特に妙法寺では普段は閉めたままのお堂（明治十一年建立 二十三日堂）を解錠して、お参りを出来るようにしております。

そもそも二十三日尊とは何かと申しますと、勢至菩薩さまの変化された月天子さまで、特に月待ち（月に畏怖もって敬う）の信仰と共に根付いた月と神仏が結びついた存在を顕します。

妙法寺の二十三日様は、神兔を覗かせた宝玉を持つ美しい女性の姿で、そのお



二十三日堂
祖師堂内陣西側

姿から、縁結びや財を産み増やす金運アップ、また芸事に秀でる靈験有りと謳われてきました。

さらに妙法寺では、堂内に「なで石」と言われる白蛇を封じたような秘石が奉安され、これをなでると様々に御利益があると伝わっており、今でもお参りの人が絶えません。こちらも併せて信仰の的となっておりますのでお参りください。この日、祖師堂においては、堂内西側に二十三日尊のお姿を描いた御軸をお祀りしております。午前十時、午後一時とお経を読み、法味を捧げ、お参りの方々がその功德を頂いておりますので、是非とも皆様の御参詣をお待ち申し上げます。

かわら版

当山の行事やご祈願などを
ご案内するコーナーです。

記事についてのお問い合わせは、
お気軽に寺務所まで。

《電話》〇三・三三三三・六二四一

◎法華千部会のご案内

本年も五月十日～五月十三日の期間、法華千部会を厳修致します。



法華千部会は、江戸時代より二百年を越えて行われている伝統行事の一つです。

法華経は巻部読むだけでも大変功德があるため、

千部会の賛助者(千部施主)となる功德・ご利益は計りしれません。皆さまも千部施主の一人となり、その大きな功德をいただき、除厄安全・身体健全・心願成就などをお祈り致しましょう。

また、十三日の天童稚児音楽大法要では天童稚児となるお子様と親子でご参加いただき、発育増進・除厄安全をお祈りください。

■五月十日(木)お経揃い…十九時
■五月十一日(金)～十三日(日)
お経……………十時・十三時半
法話……………十二時

●千部施主 一名 五千元也
(お開帳・お経頂戴・お食事含む)

— お稚児さん参加のご案内 —

天童とは仏さまの化身と言われ、穢れ無き稚児にその魂が宿るとされてきました。そして、行事の時には綺麗にお化粧をし、華やかな衣装を着てお仕え致します。そうすることによってみ仏に守っていただき、健康で良い子に成長するようになります。

妙法寺では法華千部会と御会式の時に天童稚児行列を行なっております。この機会にぜひご参加いただき、お子様の身体健全・発育増進をご祈念されてみてはいかがでしょうか。



●天童稚児 一名 五千元也

(貸衣装・記念写真含む)

- ◆お札・お守り・お菓子がいただけます。
- ◆昼食は申込み者と付き添い人一名分の軽食とドリンクをご用意いたします。
- ◆対象者は幼児から小学生まで。
- ◆普段着でお越し下さい。



▲衣装をまとったお稚児さんの様子

◎ 孟蘭盆施餓鬼会

「孟蘭盆」は、目連尊者が母親を餓鬼界から救う話が由来となっています。

目連尊者は、お釈迦様に教えられたとおり、修行僧たちをもてなして供養を施し、

その功德で母親を餓鬼界の苦しみから救うことができました。お釈迦様が説かれたのは、身内や自らが仏に成ることが目的ではなく、他人を導き救うことこそが自身の父母・先祖を救うことに繋がってゆくというものです。

「孟蘭盆施餓鬼会」は、先祖の霊と共に有縁無縁の霊、法界万霊を供養し、全ての生きとし生けるものに感謝する法要です。

- 〈日時〉七月十六日(月) …十三時より
- 〈場所〉 本堂



▲孟蘭盆施餓鬼会の様子

— 新盆会 —

▲お檀家の皆様と新盆会

四十九日の忌明け後、初めて迎えるお盆は新盆または初盆といい、特に丁寧な供養を営みます。当山では、新盆を迎えたお檀

- 〈日時〉 七月十三日(金) …十三時より
 - 〈場所〉 本堂
- ※各家には、ご案内・申込書をお送りします。

◎ 土用の丑ぼろく灸

夏の「土用の丑の日」に行われる行事です。

頭痛は悪鬼の障りによつて起こると信じられていた時代から、その障りを



◎ 妙法寺門前通り商店街

- 〈日時〉 七月二十日(金)・八月一日(水) …九時～十六時(随時受付)
- 〈場所〉 祖師堂

祈願料 一名 三千円より

除くために始められたものです。

◎ 妙法寺団参のご案内



妙法寺では年に一度、日蓮聖人ゆかりの地へ団体参拝をしております。前回は佐渡に行つて参りました。ぜひ、ご参加ください。次回は秋頃に山梨・静岡方面へ行く予定です。



▲ふれあい祭り (平成29年7月2日)



▲千日紅市 (平成29年10月3日)

- ふれあい祭りの予定…六月二十四日(日)
- 千日紅市の予定…十一月三日(土)

妙法寺では境内を開放し、妙法寺門前通り商店会主催のイベントが行われております。子どもから大人までふれあうことの大切や、おもてなしの心を実感し、大いに賑わっています。

右記のお問合せは

妙法寺門前通り商店会(代表・清水屋 まで)
電話 〇三―三三三―一〇七二五



東京立正 短期大学 の教育

東京立正短期大学学長
工藤 教和

Tokyo Rissho
Junior College

できるコミュニケーション力ある保育者の養成を目指しています。今春開設の東京立正保

育園は、この教育の可能性を大いに伸ばすもので、他の短大にはない資産となるものです。

建学の精神を今日の社会環境の中で活かすべく、短大の挑戦はまだ続きます。

専攻科（短大卒業後一年在学）を加えても、在籍者数は二百

四十名ほどです。教育目標は、自身で考え判断し行動するとともに、他者と協働できる力の涵養です。これをコミュニケーション力としてとらえ、一人ひとりの顔が見える小規模さの利点を活かして培うのが本学の特徴です。教職員は、学生個々の事情を理解し、学生自らがうちにもつ力の可能性を発見して行けるように努めています。過保護かもしれないが、これも基礎的な力を養成する一つの方法だと考えます。大きな大学では難しい文字通りの個別教育です。

では、学習成果を社会に示す証として、資格取得を奨励しています。それらは、語学、PCスキル、秘書検定、簿記検定などの実務的資格にとどまらず、ピアヘルパー（他者の気持ちに寄り添いグループの要となるスキル）資格やホスピタリティ能力を育む旅行関係の資格など多岐にわたっています。四年制大学の二年生ではここまで

現代コミュニケーション
ケーション専攻（ビジネス、心理、観光の三コース）と幼児教育専攻（幼稚園教諭免許と保育士資格同時取得可能）の二つの専攻があります。幼児教育の専攻科（短大卒業後一年在学）を加えても、在籍者数は二百

現代コミュニケーション専攻

幼児教育専攻では、これらの子育ては社会全体が担うものとの考えの下、子どもの個々の成長を、保護者や地域社会とともに見守る要として活躍

着実な歩みを続けています。

はとでもできません。

はとでもできません。

妙法寺第三十世山主、岡田

四十名ほどです。教育目標は、

では、学習成果を社会に示す

日歸上人の建学の精神を受け

自身で考え判断し行動すると

証として、資格取得を奨励し

継ぎ、法華経に基づく人類普

ともに、他者と協働できる力

ています。それらは、語学、

遍の価値「生命の尊重・慈悲・

の涵養です。これをコミュニケ

PCスキル、秘書検定、簿記検

平和」を基本理念とする東京

ーション力としてとらえ、一人

定などの実務的資格にとどま

立正短期大学は、取り巻く環

ひとりの顔が見える小規模さ

らず、ピアヘルパー（他者の気持

境が厳しさを増す中にあっても、

の利点を活かして培うのが本

に寄り添いグループの要となる

着実な歩みを続けています。

学の特徴です。教職員は、学

スキル）資格やホスピタリティ

本学には、現代コミュニケーション

生個々の事情を理解し、学生

能力を育む旅行関係の資格な

ション学科の下に現代コミュニ

自らがうちにもつ力の可能性

ど多岐にわたっています。四年

ケーション専攻（ビジネス、心理、

を発見して行けるように努め

制大学の二年生ではここまで

観光の三コース）と幼児教育専

ています。過保護かもしれない

はとでもできません。

攻（幼稚園教諭免許と保育士

せんが、これも基礎的な力を養

幼児教育専攻では、これか

資格同時取得可能）の二つの

成する一つの方法だと考えます。

らの子育ては社会全体が担う

専攻があります。幼児教育の

大きな大学では難しい文字通

ものとの考えの下、子どもの個々

専攻科（短大卒業後一年在学）

りの個別教育です。

の成長を、保護者や地域社会

を加えても、在籍者数は二百

現代コミュニケーション専攻

とともに見守る要として活躍

Open Campus

全てはコミュニケーションから始まります。

東京立正短期大学
現代コミュニケーション学科
(共学)

現代
コミュニケーション
専攻

幼児教育
専攻
保育士・幼稚園教諭
養成課程

心理
コース

ビジネス
コース

観光
コース

本学の
奨学金制度を
ご利用
ください。

私たちが持っている!!
心を通じ合い、互いに信頼し、受け入れ合うチカラ。

SCHEDULE

オープンキャンパスの日程

平成30年: 4月21日(土)
5月12日(土)
5月19日(土)
5月26日(土)
6月 2日(土)
6月 9日(土)
6月16日(土)
6月23日(土)
7月 7日(土)
7月14日(土)
7月21日(土)
7月28日(土)
7月29日(日)
8月 4日(土)
8月18日(土)
8月25日(土)
8月26日(日)
9月 8日(土)
9月15日(土)

全日程共に、
●10:30~13:00
の時間に開催
致します。

予約制

※日程が変更になる
場合がございます。
最新情報を
ホームページにて
ご確認ください。



東京立正短期大学
Tokyo Rissho Junior College

〒166-0013 杉並区堀ノ内 2-41-15 TEL 03-3313-5101 FAX 03-5377-7641
URL <http://www.tokyorissho.ac.jp/>



完全中高一貫プログラムのグランドデザインで
国際社会での活躍を目指した
真のグローバルリーダーを育てています。

まずは、学校説明会・ホームページへ。

平成30年度入学者対象 学校説明会日程

中学校

平成30年 6月20日(水) - 10:00
平成30年 7月14日(土) - 10:00
平成30年 9月12日(水) - 10:00
平成30年 9月29日(土) - 13:00 ☆
平成30年10月20日(土) - 14:30
平成30年11月10日(土) - 10:00
平成30年11月17日(土) - 14:30
平成30年12月 8日(土) - 10:00

高等学校

平成30年 7月14日(土) - 14:30
平成30年 9月30日(日) - 10:00 ☆
平成30年10月13日(土) - 14:30
平成30年10月27日(土) - 14:30
平成30年11月10日(土) - 14:30
平成30年11月24日(土) - 14:30
平成30年12月 1日(土) - 14:30
平成30年12月 8日(土) - 14:00

※☆の日は学園祭を予定しています。

いずれも、会場は本校です。上記日程は変更になる場合がありますので、必ず最新の日程をホームページで事前確認の上、お越し下さい。



学校法人 堀之内学園

東京立正 中学校
高等学校

〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内 2-41-15
TEL 03-3312-1111 FAX 03-3312-1620

URL <http://www.tokyorissho.ed.jp/>



御菓子司 清水屋

〒166-0013 杉並区堀ノ内 3-48-3 ☎03-3311-0725

【営業時間】和菓子 ◆10時～17時
手打ち蕎麦 ◆11時～18時(以後はご予約のみ)
◆火曜日：11時～15時
※いずれも蕎麦がなくなり次第終了

【定休日】和菓子 ◆火・水曜 ※三のつく日は共に営業
手打ち蕎麦 ◆水曜 致します。(振替休日有)

仏壇・仏具・位牌

みす平は創業300有余年の神・仏具の専門店
オーダーメイドでの仏壇製作から、古くなった仏壇・仏像・お位牌などの修理、修復も承ります。

良品 安値!

みす平は10年後、20年後の信用を大切にします。

神・仏具のみす平
株式会社みす平飛天堂

☎042-334-9981 FAX042-334-9982
〒183-0045 東京都府中市美好町1丁目30番地の13
<http://www.misuhei.co.jp>

ご葬儀をご想像へ

ムラカミの安心と信頼が
皆様の想いを
サポートいたします。

ご家族葬から
社葬・団体葬までご対応。
1級葬祭ディレクターが
責任を持って担当いたします。

365日24時間 自社所有の
寝台車による速やかなお迎え。
霊安室も完備しております。

葬祭業安心度調査
AAA評価

JECIA格付
★★★★★認定

村上葬祭
株式会社ムラカミ

〒156-0051 東京都世田谷区宮城3-28-2
<http://www.murakami-sousai.co.jp>

ご葬儀・ご法要をはじめ、ご不明な点について、
無料でご相談にお応えいたします。
24時間・365日ご対応 ☎0120-711-556

墓石・記念碑門塀
諸石材料工事

有 限 会 社
マサ

中島正石材

〒一六六・〇〇一三 東京都杉並区堀ノ内二一三二一
TEL 〇三(三三二六)八八四六代
FAX 〇三(三三二六)八八二二

編集後記

最近テレビを見るたびに私は思うことがあります。事件の犯人に関して、周りの人達にインタビューすると「あの人はよく挨拶はするし、優しい人ですよ。とてもそんな大それた事をする人とは思えませんでした」などと、良く耳にします。先日バスに乗っていると、中年のご婦人が乗車するなり、運転手さんに遅くなったことの文句を言っていました。その光景を見て、車内の空気は嫌な雰囲気になりました。そして次の停留所で、小さな女の子を連れられた親子が乗車しました。すると先程の女性は満面の笑みで二人を迎え、少女に自分の席を譲って話し掛けて居ました。それを見て一同は哑然としました。

足りない慈悲の心のない人なんでしょう」と。また、後者だけを見た人は「なんて優しい慈悲の心のある人」と思うでしょう。人の心の移り変わりはさまざまですが、ある時は仏様にもなるし、餓鬼・畜生にもなります。これは六道輪廻でしょうか？ 真実はどこにあるのでしょうか。

教雄記

教誌編集委員

委員長	田田雄	教雄
委員	嶋田理	教雄
	吉田深	教雄
	山田亨	教雄
	山形教	教雄
	石川義	教雄
	宇都厚	教雄
	井月宝	教雄
	戸田行	教雄
	原秀	教雄
	望宣	教雄
	戸大	教雄
	藤教	教雄
	望善	教雄

はりのる